

2021 年度福井県立大学一般入試前期 国語 出題意図

(※正答及び出題意図に関する質問・照会には回答しない。)

第 1 問 (配点 50 点)

本問は、中村桃子『翻訳がつくる日本語』(問題文 1) と片岡義男『海を呼びもどす』(問題文 2) の 2 つの文章にもとづいている。それぞれの文章から著者の考えを読み取るとともに、両文章を比較しながら内容を理解する能力を問う。

問 1 文章全体の趣旨をとらえ、文中で対比された概念を正確に理解する能力を問う。

問 2 文章の理解のうえに、その内容にもとづいて簡潔な文章にまとめる能力を問う。

問 3 文脈が正確に把握できているかどうかを問う。

問 4 「構築主義」でいかにアイデンティティが確保されるのかについての理解を問う。

問 5 言語資源としての「標準語」という論旨が理解できているかを問う。

問 6 語彙についての知識を文脈に当てはめる能力を問う。

問 7 問題文 1 の文章に対する理解を問題文 2 に具体的に当てはめ、表現する能力を問う。

問 8 一定の枠組みの中で、文章の理解から可能な解釈を見つけ出す能力を問う。

問 9 語彙についての知識にもとづき、問題文 2 に照らして可能かつ妥当な解釈を適切に表現する能力を問う。

第 2 問 (配点 50 点)

本問は、中島敦『狐憑』の一部に即し、小説言語についての理解を問う問題である。文字通りの基本的な読み取りから、物語内容に即して読み込む力、さらには直接には記されない内容を文脈より読み込む力へと、徐々に読解の深度を求める出題とする。

問 1 語義に関する知識を問う。

問 2 漢字の能力・語彙力を問う。

問 3 文章全体の理解にもとづく、物語の展開に関する基本的な読み取りの能力を問う。

問 4 主として文章前半から語り手(シャク)と聴き手の相互関係のありかたを読み取り、的確に説明する能力を問う。

問 5 文章の理解にもとづき、同じ表現における意味の違いを適切に説明する能力を問う。

問 6 文章の理解にもとづき、言語に関する基本的な知識により適語を発見する能力を問う。

問 7 文章の順を追って複数の要点を適切におさえ、要約する能力を問う。

問 8 文章の内容に即して、背反するかに見える該当箇所の意味を自分の言葉で表現し、文章全体の読解の鍵を見出す能力を問う。

問 9 文章全体を理解した上で、問 4、5 とも関連させ、主人公の変化の理由を説明する能力を問う。